

ALL for ONE

Communication Magazine

Vol.19

It's your ship.



NIPPON KABAYA OHAYO HOLDINGS INC.



日本カバヤ・オハヨーホールディングス株式会社
代表取締役社長 野津 基弘

It's your ship! ～舵を取れ、しかし航路から外れるな～

理想に向かう為の具体的な計画を示すこと。
現場の人たちが納得・理解して一歩ずつでも安心して
自らの仕事を達成し実感できる一年にしたい!

今回、Top Messageは白紙で出すか、しっかり書くかとどちらに
するかを考えました(笑)
社長の発信は、社内に対しては影響力があるかもしれませんが、
戦略や経営の方向性についていくら説いても、マーケットを動か
すのは現場です。具体的な戦術・施策が現場の皆さんの動きや
すいものになっているかが、マーケットにおいては重要になります。
私は社長として言うべきことは言ってきたつもりです。
会社の方針や戦略など示すべきものは示してきました。
その結果として出てきた現状は素直に受け止めています。
そして改善すべきだと考える私自身の視点をお伝えしたいと思います。

情報の伝達の仕組みを構築できなかったこと、そして現場の意見
が我々に届かなかったこと。現場が力を発揮しやすい環境を整え
ることが、私たち経営陣の役割でありながら、実態を把握できてい
なかったことは反省点です。この状況は、現場の皆さんの方がよ
り現状に対する危機感を抱いていると思います。
今期の積み上げに注力するだけでなく、来期に向けた具体的な施
策(戦術)を組み、落とし込んでください。この時期は、現場の皆さん
が最適だと思うことを着実に実行に移してほしいと思っています。
現状から脱却し、理想を持った現実主義で、自分を信じて徹底的
にやるべきことをやってください。
現場である皆さんが一番分かっているはずです。
私は、皆さんの挽回する力を信頼して、具体的に示された施策を
バックアップするのみです。

皆さんの目の前にある問題について、やるべきだったことをしっかり
検証し、来年度に向けて地に足付けて一歩ずつ進んでいきましょう。
一歩ずつ踏み出していけば、我々グループ企業は間違いなく予算
を達成し、確実に成長できると確信しています。

その為に事業会社には上下間の『正しい情報』が伝達すること、
各部門の横断的な情報共有と意志確認を常に行い、実務者トッ
プへの社内の決裁・承認プロセスの明瞭化・明快化・明確化を
求めます。
現場の意見・提案が上がりやすい業務環境を整え、部門間の連
携・連動を高め各部門が抱えている問題の解決にいち早く対応
してもらいたいと思います。

【改善点】

『正しい情報の伝達の仕組み』

言葉尻に反応するのではなく、自分の言葉で伝えられるように、
その意味、その背景をよくよく確認・理解すること。
言葉を簡潔にして伝えるのではなく『真意を簡潔明瞭に伝える』こ
とを心掛けてもらいたい。
何の目的のための仕事なのか、何が具体的な目標なのか、それら
が明瞭、明快、明確になれば、よりモチベーションも上がり、業績も
上がり、企業の将来性に期待でき、個人の成長と企業の成長、更
にはマーケットの質を高める成長につながると考えます。

『フィードバックがカギ! 決定承認プロセスとコミュニケーションの 両立が重要』

事業の戦略と現場の行動がつながる企業を目指していく上で正
しい情報が伝達されているかを検討・確認し改善すべきは、簡潔
明瞭な組織と承認プロセス。そして、自由闊達な会議室内外での
遠慮のないCommunicationの両立です。
この両立は矛盾しているかのように思われますが、私たちの会社
に昔から一番足りないのが承認・決定プロセスにおける部門間・
上司・部下間の真剣なフィードバックです。
紀尾井町オフィスも随分賑やかにざっくばらんなコミュニケーション
が取れるようになって来ましたが、まだ真剣な意見が交わされるよ
うになっていないのかもしれない。
この真剣なフィードバックがなされれば、やはりどう考えてもおかし
いと思われる決定は再検討されることもあるかもしれません。また
社員一人一人が全社的な視点を養えるようになり、一人一人が
承認プロセスとコミュニケーションの両立の重要性を理解出来る
のではないかと考えます。私は、その為に必要な様々な意見や提
案は、今後も変わることなく受け付けていきたいと思っています。

なお、来期4月から施行する予定であった人事制度については理
想を求めた制度設計だけが先行しており現実に則していないと判
断し、半年から一年間掛けて再構築することにしました。期待して
いただいていた社員の皆さんには大変申し訳なく思っています。

どんな状況でも乗り越えていけるグループ企業として、誇りと自信
と勇気を与えられるような経営をしていきたいと考え、計画を立て、

実行していきたいと思います。

商品づくりだけに限らず、仕事の進め方が、「真の欲求を究めて、ホンモノをカタチにする」ことに則り、現場が結果の出しやすい具体的な戦術を立て、安心して着実に行動できるように日々の業務を進められるようになって欲しいと願っています。ここで私がメモした著名人の名言集の一部を紹介します。

名言集 イチローと羽生善治

「自分の中で何かひらめいたり、バットニングの技術が高まったりするのは、いつも決まって凡打のときです。大切なのは、いま自分がやっていることが好きであるかどうか。それさえあれば自分を磨こうとするし、常に前に進むことができる」(イチロー)

基弘：ラッキーショットも実力だけど、成長するカギはミスショットか、大失敗の中にある。自分を信じてミスショットを克服するから、もっと好きになる。

「野球の人気ということを考えるのならば、そこで選手たちがどういう立ち居振る舞いをするかというのは大事だと思います。子供たちに対しては、勝つだけじゃなくて、カッコいいなあと思ってもらえなければダメなんです。真摯に野球のことを考えている選手たちが集まって、それでさらに勝てれば、子供たちが野球に向いてくれるきっかけになる可能性は十分にあると思います」(イチロー)

基弘：そうそう、仕事をしている大人は、カッコよくない。

「僕にとっては、高校を出てすぐの92年にプレーしていたオリックスの2軍、あのチームの雰囲気は最高でしたから、すごく楽しかった。でも、楽しいのと面白いのとは、ちょっと違うと思います。今だって、草野球の中に入って野球をやれば楽しいし、きっと笑えばなしですよ。でも、おもしろさというのはそういう次元では味わうことができない」(イチロー)

基弘：プライベートや、趣味に興じていても、目的・目標を仲間と達成した喜びには敵わない。

羽生とイチローは驚くほど似ている。

涙が出て来るぐらい…野球と将棋を愛している。

野球、将棋そのもののレベルを高めることを求め、そのものが持つ人間の可能性にチャレンジしている。

自らの収入、自らの立場、自らの名声や名誉への安住を許さない。自分のスタイルにこだわらない。

そして対戦相手にもそれを強いる強さと度胸がある。

目の前の勝ち負けより、自らのレベルアップと、野球・将棋そのもののレベルアップを追求し続けている。

「真の欲求を究めて、ホンモノをカタチにする」とは、そういうことです。時には対戦相手に今までの人生そのものを否定するほどの敗けを与えて、勝ちを得る時もある。…当たり前だ。勝負なのだから。勝ち負けにこだわらず、自分の野球、自分の将棋を極めること。情熱を以って続けることをやり続けることが当たり前だと思っていた。これは当たり前ではないんだ…、と年輩の棋士を見て感じて

第一線で活躍している人の考えや言葉を自らの考えや言葉に置き換え、励まされながら、日々精進したいと思っています。

残り少ない今期を悔いなく終わらせると同時に、今期から学んだ改善点を踏まえ本来在るべき我々の働きを発揮できるよう仕切り直し、来期へつながる具体的なプランを立て、目の前の問題をクリアにし、上を向き、前に向かって一步を踏み出しましょう。

「数字を超えたからといって、2年前の僕を今の僕を超えているかどうかわからない」(イチロー)

基弘：数字は事実ではあるが、全てを語ってくれている訳ではない。数字の裏にある現実に目を向けて検証すべきことがある。仮説を立てて行動するからこそ、検証すべきことがある。

「いいときは何事もうまくいくので、むしろ悪くなったときにどれだけ頑張れるかがその人の真価」(羽生善治)

基弘：良くない時にこそ、伸びる為の課題とヒントがある。変化が速い時代に対応するためには、自分自身も変化することを恐れてはいけない。

「仮説は外れることもあります。しかし、仮説検証を繰り返すうちに、次第に全体像をイメージする精度が上がっていく」(羽生善治)

基弘：思い付いたこと、考えたこと、言いたいことを心の中に仕舞っていても、それは仮説にならず、周りからの指摘も生まれないし、アドバイスも、支えもないし、検証もできない。近視眼的にならず、自分だけではない様々な角度や意見を参考にしながら全体像と細部を行き来することで解が出てくる。

「スランプと感じたことはありません。結果が出ない時期はありましたが、それは実力だと思っています」(羽生善治)

基弘：良い結果も悪い結果も、全ては因果応報です。必ず原因があります。それを探るのは、今まで自らが信じてきたことを一旦疑い、違う視点で眺めてみるのが重要です。イップスやスランプだというのは、根拠のない原因だと決めつけ、自分を振り返ることから逃げることになる。必ず原因があることを探り当て改善すると更なる発展や成長につながります。

いたそうです。

才能とはひらめき、才能とは努力を継続する力。

イチローは世界記録を持つ選手と同じ世界を見てみたいと思ったんじゃないか。

対戦相手ではなく、野球・将棋そのものと対峙しているという意識を持っているのだと思います。

人生は日々移ろうものではあるが、大局観の中に、人生の勝負どころというものがある。それを日々移ろい、精進しながら見極めなければならない時がある。

イチロー：プロフェッショナルとは「圧倒的な結果を出す人」

羽生善治：プロフェッショナルとは「揺るぎない人」

私の思うプロフェッショナルとは「何事も肥やしにし、成長し続け、諦めない人」



野津 喬会長 社葬・お別れの会

多くの人と結んだ“縁”が 最大の財産

昨年12月20日、故野津喬会長とのお別れに際して、政財界や青年会議所の関係者、加えてグループ社員やOBなど、約2,100人が参列しました。参列者は白いバラを献花台に手向け、静かに手を合わせ冥福を祈りました。人とのつながりを最も大切にする、喬会長の信念を実感する会となりました。



葬儀委員長
岡山県商工会議所連合会 会長

岡崎 彬さん

若き日の喬さんは青年会議所活動に情熱を傾けられていました。岡山青年会議所の理事長となり、持ち前のバイタリティを基に、JC活動に全精力を注ぎ、その3年後には日本青年会議所の会頭に就任。全国の若手経営陣の頂点として活躍されました。会頭在任期間中、東京発ではなく、地方発で、という信念に則り、全国のJCを精力的に行脚し、JC活動の活性化に向け、各地のメンバーとその交流を進められました。地方から全国に通用する企業にするという強い理念は、この時の会頭経験や全国に及ぶ人的つながりが影響して育まれたものであると思います。岡山の地方企業の全国進出、その目標に向けて強力なリーダーシップの下、様々な改革や創造に取り組まれました。CIの政策やブランド戦略への着手を手始めにオハヨー乳業ではリンクヨーグルトなどを主力商品として関東圏へ進出、茨城工場への建設やチルドでの全国配送を実現するなど、常に時代の先を見据えた食の安全への設備投資や焼プリンなど消費者ニーズを先取りした商品開発に取り組まれました。この取り組みが功を奏し、オハヨー乳業の製品は全国規模での展開に。合わせてカバヤ食品の経営にも参画し、岡山工場の新築移転を皮切りに、最新鋭の機能を有した関東工場を新設しました。それまでの定番商品に加え、商品の高品質化、均一性、安全性への向上を図り、新たに焼き菓子部門を新設し、子どもから大人まで楽しめる商品づくりの道を開かれました。またカバヤ、オハヨーの他にライフデザイン・カバヤやリンク&リンケージなど多くのグループ企業の

発展を支えたのは、旧備前岡山藩主であった池田家との交流を大切にし、池田動物園の運営に対し、有形無形の支援を続けるなど、地道な活動とその姿勢があつてこそだと思います。またその高い見識と人脈を生かし、岡山県食品衛生協会会長、岡山県牛乳協会会長、全日本乳業厚生年金基金理事長などを歴任したほか、全国規模の食品関連団体の活動を通して、業界の発展に力を尽くしてこられました。その他、若き頃から取り組んでこられた国際交流の分野では岡山市国際交流協議会の会長として様々な都市との交流や、外国の方でも暮らしやすい街づくりにも尽力されました。常に最善を求め、厳しい経営姿勢を貫くとともに、課題解決に向けた努力を惜しまない方でした。その過程で多くの優秀な社員が育ち、その社員の皆さんがあなたと共に会社の発展を支えてこられたことでしょう。カバヤ・オハヨーグループの底力は、卓越した経営者と優れた社員の方々の力の結集にあると確信しています。そして仕事の時は厳しい一面を見せる反面、常に社員を気にかけて、飾らない人柄で接し、圧倒的な指示と尊敬を得てきたことと推察します。その社員の方々と手を携えながら作り上げたグループも、長男の基弘さんに受け継がれ、今後の憂いもないことでしょう。若き経営者に導かれたグループの行く末と従業員の皆さんのご活躍を見守り続けてくれることを願っています。生前のご偉業をたたえ、数々のご厚意に感謝し、安らかに静まりたもうことをお祈り申し上げます。

友人代表

星島 和一郎さん



なぜこんなに早く急ぎ足で逝ってしまったのか。間違いであつてほしい、と何度も言葉を飲み込みました。喬さんとは中学から大学までずっと一緒に、何でも相談できる心の友でした。阿吽の呼吸で酌み交わしたお酒の席では、若い頃は青春の悩みを語り合い、年をとってからは終日語り合つて飽きなかった日々が思い出されます。大学卒業後、私が就職した企業には、オハヨー乳業の工場の排水処理のプラント工事を発注して頂きました。当時、まだ私が新入社員だったため、民間企業から大きな受注を受けることは大変嬉しいことでした。損得ではなく友として仕事を発注してくれた、底抜けに友達想いの男でした。本人が愛して止まなかった、富士山を臨むゴルフ場で突然天に召されてしまい、残念でなりません。最良の人生のパートナーであり、過ごした時間全てが宝物です。今はもうゴルフも釣りも一緒にできませんが、いつの日か語り合いたい想いで胸がいっぱいです。謹んで哀悼の意を述べさせていただきます。どうか安らかにお休みください。

取引先代表

大阪シーリング印刷 代表取締役社長

松口 正さん



ご逝去に際し、深い驚きと悲しみを感じています。富嶽カントリークラブでゴルフを楽しまれたり、JCのお仲間との岡山での会食を楽しみにしておられたと伺い、安心しておりましたのがほんの2週間前です。まさか本日、お別れの言葉を申し上げることになろうとは、痛恨の想いです。カバヤ食品とのお取引は日本中が東京オリンピック開催に沸いた昭和39年、子どもたちにシールやワッペンが大人気となり、カバヤキャラメルのおまけや外箱そのものに、当社のシールやワッペンをご採用いただいたことに始まります。以来、ご創業者の克己さん、喬会長、そして基弘社長のご3代にわたり、公私共に親しくお付き合いさせて頂きました。野津会長ご夫妻には私

ども夫婦の仲人もお願いし、私の社長就任以来、弊社の社外取締役を務めていただくなど、本当にお世話になりました。様々なアドバイスを頂戴し、良い決算の時には心から喜んでいただき、野津会長に褒めて頂くことが大きなモチベーションとなっていました。先見性と実行力、そして何よりも大きな包容力が私のお手本であり、目標でした。これからもご教示いただきたいことが山ほどありましたのに、残念です。また野津会長は富嶽カントリークラブをこよなく愛しておられ、ご一緒させて頂いた折には、「先代がここからの富士の絶景を臨んで、ここにゴルフ場を作らないやつはバカだ、とよく言っていた」というお話を伺いました。機会に恵まれ、実行する力もあるのに挑戦しないのは負け犬と同じだ、と野津家の家訓のように聞かせて頂きました。富嶽カントリークラブによく訪れていたのは、カバヤ・オハヨーグループを岡山から日本を代表する企業グループに育て上げられてもなお、先代の声に耳を傾けられ、道しるべとされていたのかもしれませんが。この富嶽カントリークラブで基弘社長のご活躍を先代にご報告され、安堵に胸をなでおろされたのでしょうか、早すぎる生涯を終えられました。いま基弘社長は懸命にグループの新たな企業価値の創造に取り組まれています。グループの皆さんが日本の最高峰、富士山の剣が峰に想いを馳せられておられた、野津会長のご遺志を継がれ、基弘社長の下、社業の限らない発展を目指して邁進されることと思います。想いは尽きず、全てを語り尽くすことはできませんが、社員の皆さんとご家族には一日も早く悲しみから立ち直られますことを願っています。どうぞ安らかにお眠りください。

社員代表 日本カバヤ・オハヨーホールディングス 副社長

安藤 喬

会長不調の一報を受けた際、状況からして重篤な事態と覚悟はしていましたが、まさかそのまま帰らぬ人になるとは、夢にも思っていませんでした。急逝される数日前、電話で「どうだ、頑張っているか」と元気そうな大きな声をお聞きしたばかりでした。突然の最悪の事態の展開に直面し、社員一同、落胆のあまり言葉もなく、残念な気持ちでいっぱいです。威厳に満ちた会長の姿が、常に後ろに控えていると思うと、限りなく勇気が湧いてまいりました。「棺を蓋いて事定まる」と、その人の存在の大きさは死んでから分かりますと言いますが、野津会長の場合は、生前はもちろん、帰らぬ人となった今も、その存在の大きさに失った深い悲しみを抑えきれません。生前は社業に全力で取り組まれ、本日のカバヤ・オハヨーグループの礎を築かれ、先頭に立たれました。若き頃は青年会議所運動に情熱を注がれ、1985年度には日本青年会議所の会頭にも就任し、念願の大輪の花を咲かせました。全国各地に多くの心の友を得られ、この紡いだ熱い友情の輪を首に下げ、会うたびに「人生の最大の資産



は、経験値と人的ネットワークだ」とよく聞かされました。その教えは今も深く胸に刻んでおります。2年前に長男の基弘社長に全ての経営権を譲られ、悠悠自適の日々を過ごされる、と思っていた矢先でした。会長の深いご遺志は、社業の更なる躍進でした。社員は深い悲しみを乗り越え、社業躍進に決意を新たにされている基弘社長を支え、必ずや会長のご遺志にお応えすることを誓います。長い間、喬会長の聲咳に接した1人として、言葉に尽くせない終生のご恩をいただき、誠にありがとうございました。心からご冥福をお祈りいたします。

OB

貝原 尚明さん

喬さんとは同期でした。独身寮生活の食事を心配してくださり、自宅にお邪魔しては食事を振舞ってもらっていました。休日のたびに、独身寮のメンバーと喬さんと賑やかに過ごしたことが良い思い出です。立場も役職も関係なく、同じ目線で接する、そのお人柄に社員から非常に慕われていました。私もその1人です。こんなに良くしてもらっているのだから、恩返ししたいと思い、仕事にも熱が入りました。あまりにも突然の早過ぎるご逝去が残念でなりません。心よりご冥福をお祈り申し上げます。



当時の喬会長宅で基弘社長1歳の誕生日を祝う

OB

山本 明さん

入社当初、毎週のようにご自宅にお邪魔して食事やお酒をご馳走になっていました。一緒に鍋をつついて、食事が終わってからも他愛のない話で盛り上がり、麻雀をしたりと毎度長居をしていました。仲人も務めていただきましたが、色々物入りだったので心配して下さり、私の車を買取って現金に換えて下さったこともあります。それくらい何でも相談できる気さくな方でした。本当にお世話になり感謝の言葉しかありません。安らかなご永眠をお祈り申し上げます。



社内のど自慢大会で挨拶をする喬会長

プレ協サッカー大会で三連覇達成

(文：ライフデザイン・カバヤ サッカー部監督 射場桂、キャプテン 田中一)



ライフデザイン・カバヤ株式会社
岡山店店長
監督・射場 桂



ライフデザイン・カバヤ株式会社
住宅宣言ふくやま展示場店長
キャプテン・田中 一

ライフデザイン・カバヤサッカー部は、昨年11月に開かれたプレハブ協会主催の第16回サッカー大会で優勝し、大会三連覇を達成しました。

同大会は、岡山県内のプレハブ住宅メーカーが集まり毎年開催している大会で、今回は全7チームが参加しました。

総当たりの予選リーグは、若手社員を中心に運動量で圧倒し、順調に勝ち進み決勝トーナメントに進出。準決勝は延長PK戦の末、激戦を制し、迎えた決勝の相手は大和ハウス工業。試合は一進一退の攻防が続きましたが、営業部の田中雄士さんが会心のシュートで先制。そのまま、相手を0点で抑えこみ、優勝を勝ち取りました。

石本隆常務は「サッカーを通じて社員同士の連帯感も強まっており、

仕事にも良い影響が出ている。これからも仕事と遊びを両立しながら、連帯感を高めてほしい」と話していました。今後も野球部と切磋琢磨しながら、会社全体を盛り上げていきます。



ザ・セントラルパークイケダにて撮影会・カレンダー受注会開催

(文：ライフパートナーイケダ セントラルパーク広尾 店長 田中佑哉)



ライフパートナーイケダ株式会社
セントラルパーク広尾 店長
田中佑哉

昨年12月16日、ザ・セントラルパークイケダで、年間3000頭以上を撮影しているプロのカメラマンによる撮影会、カレンダー受注会を開催しました。

当日は、予約枠いっぱいのお客様23組、合計36頭のワンちゃん、ネコちゃんが撮影に参加。かわいらしい衣装を着たり、豪華なセットを組んだり、ザ・セントラルパークイケダならではのラグジュアリーな空間の中で撮影しました。動き回るワ

ンちゃん、ネコちゃんたちの一瞬を捉えるべく、カメラマンは真剣勝負。撮影したショットが画面に写し出されると、「パートナー」たちの晴れ姿に飼い主さんたちは目を細めていました。完成した写真は、2018年のオリジナルカレンダーの他に、オリジナルバッグ、ブランケット、アクリルパネル、アンブレラ、スマホケースなど、さまざまなフォトグッズへの注文が可能で、飼い主さんたちはグッズ選びにも真剣でした。師走の土曜日の店内は、ひっきりなしに訪れるお客様、ワンちゃん、ネコちゃんたちで賑わう一日となりました。オープンから常連になって頂いたお客様も、初めてご来店いただいたお客様も、笑顔で自分のパートナーの撮影を見ていました。お店を知っていただく意味でも大成功だったと思います。今後もさまざまなイベントを開催し、パートナーとの絆をさらに

深めるお手伝いが出来たうれしいです。最後には私のパートナーも撮影してもらいました。商品が出来上がるのはまだ先ですが、今から仕上がりがとても楽しみです。



1000名のブロガーにBRULEEをPR！

(文：オハヨー乳業株式会社 マーケティング・業務戦略室 原田 夏実)



オハヨー乳業株式会社
マーケティング・業務戦略室
原田 夏実

オハヨー乳業は、昨年11月28日に、TKPガーデンシティ品川にて開催された「リアルサンプリングプロモーション」というイベントに参加し、BRULEEをPRしました。本イベントは、計1000人のインフルエンサーが参加する大きなイベントです。生活者であり、また記者でもある彼女たちを非日常的な空間に集め、企業から直接商品の魅力を紹介することで、商品に対する理解を深めていただき、またSNSやブログ

を通じて広く情報拡散していただくことを目的としています。

3度目の出展となる今回は、BRULEE再発売のプロモーション活動の一環として参加しました。本格ブリュレアイス「BRULEE」は、2017年春の発売後、供給が追いつかず、急遽発売休止したという経緯があります。今回BRULEEの魅力や美味しさを改めて紹介し、また話題づくりを行うことで、インフルエンサーと呼ばれる影響力のある方々に商品を取り上げていただき、その口コミ波及によって半年ぶりの再発売を後押ししようと考えました。

当日はクリスマス直前ということもあり、展示ブースは赤を基調としたクリスマスカラーで演出。ディスプレイにもこだわり、思わず撮影したくなるようなブースを作成することで、試食時は常に人だかりができました。全体説明では、一斉に500人もの方々に商品をご試食いただくため、どうすればベストな状態でお客様に提供することができるか、非常に悩みました。そこで先方と協議し、事前に会場の状況を確認。冷凍庫から出すタイミング、配膳スタッフのサービス方法、MCの紹介方法まで

細かく確認・検証しました。さらにBRULEEの表面を割る感覚を楽しんで頂くために、特別に銀スプーンを用意するなど演出にもこだわりました。

準備のかいもあり、予想以上の反響となりましたが、東京支店やマーケティング業務戦略室など、部署の垣根を越え、新入社員からベテランまで大勢のスタッフが連携して対応することで、一人ひとりのお客様にしっかりと説明することができたと思います。スタッフの一人は、そばで見ているこちらまで笑顔になるような、素敵な笑顔でお客様とコミュニケーションしていました。お陰で、お客様からも「10日で販売出来なくなったのも分かる気がする」「おいしい!ピザと同じくらいの大きさで食べてみたい」「このバリバリはクセになる」などのコメントを頂戴することができ、満足度の高さ、商品への期待の高さを非常に強く感じることができました。さらに、目的としていたSNS・ブログへの投稿についても、通常時と比べて125%もの件数がUPされ、当初の目的を果たすことができたと考えています。

また、今回参加して驚いたことは、昨年10月に実施した別のイベントに来てくださった方々とお会いしたことです。イベントは単発で終わるのではなく、継続していくことでオハヨーファンを生み出していることを実感しました。

社内に限らず、社外の方々も巻き込んだイベントとなりましたが、皆さんの協力があったからこそ成功できたイベントでした。SNSを活用したPRは非常に重要だと考えており、今後も推進していく予定です。またお客様とのやりとりを通じて、イベントを単発企画としてとらえるのではなく、異なる企画・テーマであっても連携運動を意識することが大切だと学びました。これからも人と人のつながりを意識し、様々な場面で商品の魅力を丁寧に伝えていくことで、コアなオハヨーファンを作っていきたいと思っています。



岡山県内の小中学生274人が集合！ 岡山子ども未来ミュージカルのオーディションを実施しました。

(文：ライフデザイン・カバヤ 事業推進本部 特建事業部 技術課 押田奈緒美)



ライフデザイン・カバヤ株式会社
事業推進本部 特建事業部 技術課
押田奈緒美

日本カバヤ・オハヨーホールディングスが主催、カバヤ食品・オハヨー乳業・ライフデザイン・カバヤが共催する、第一回岡山子ども未来ミュージカルのオーディションを昨年12月16日、17日に岡山放送本社で実施しました。

ミュージカル「さよなら、ハロルド！～花咲ける海原～」の舞台に立つことを夢見て、約300人の応募があり、当日審査を受けたのは合計274人でした。開会に伴い、16日は安藤副社長、17日は窪田執行役員が主催者代表の審査員として挨拶。「皆さんの夢と希望と輝きを力いっぱい表現してほしい」とエールを送りました。

出演者は全員で準備体操をしたあと、各々、ダンス、歌、演技の審査を受験しました。堂々と踊りや歌、セリフの発声を披露し、子どもたちの多彩な才能に驚くばかりでした。プロデューサー、脚本家、演出家など、プロの舞台人が中心となって審査が行われましたが、レベルが高く非常に難航していました。

参加した子どもたちは、最初は固い表情でしたが、最後には「楽しかった」「緊張したけど、挑戦して良かった」など、笑顔で話してくれました。短い時間でしたが、同年代の仲間たちと切磋琢磨することで成長してもらえたように感じました。

出演者も決まり、3月25日本番に向けて稽古が始まっています。当ミュージカルは岡山の未来を担う子どもたちの成長を願って行うものです。このミュージカルを通して、1人でも多くの子どもたちに夢や希望を与えられるものになるよう、引き続き、グループ一丸となって盛り上げていきたいと思っています。



▲演出家の市村さんによる挨拶



▲ダンスは当日に振り付け



▲全員で発声練習



▲一般審査で歌と演技を披露

「ピュアラルグミ」を大幅リニューアル!

(文：カバヤ食品 カテゴリ戦略室 横部 新太郎)



カバヤ食品株式会社
カテゴリ戦略室
横部 新太郎

カバヤ食品は、注カグミ商品「ピュアラルグミ」を大幅にリニューアルし、2月20日に発売します。

パッケージは、フルーツのおいしさと品質を伝えるデザインにし、商品名を確実に認識できるようなロゴを作成し、中央上部に配置しました。品質は、全てのフレーバーにエアレーション製法を採用し、「香り立ちと味の広がり良さ」を提供できるよう統一しました。

商品名が認知されておらず、中身の特長が伝わっていないという課題を解決することと、商品のおいしさをベースアップさせることが重要と考え、今回のリニューアルに至りました。消費者の皆様には「ピュアラルグミ」の名前と品質を覚えていただきたいと思います。

実は、「ピュアラルグミ」のリニューアルを担当することは私にとって非常に大きなプレッシャーでした。特にパッケージデザインを変更すべきかどうか悩みましたが、経営方針でもある「ブランドの構築」という視点に立ち返り、変更することを決意しました。結果はこれからですが、担当させていただいたことに感謝しています。アウトプットして商品が世の中に出て、答えが出る。こういった機会をもっと得られるよう、挑戦し続けたいです。



村井邦彦氏コンサートイベント開催

昨年12月15日、渋谷Bunkamuraオーチャード・ホールにて、日本カバヤ・オハヨー presents村井邦彦氏のコンサート「LA meets TOKYO」が開催されました。村井氏は「翼をください」をはじめ、日本の音楽シーンの礎を築き、今年作曲家活動50周年を迎えた作曲家の第一人者。村井氏は作曲家・音楽プロデューサーとして荒井由実（現・松任谷由実）を世に送り出すなど国内で25年活躍。その後、海を渡ってロサンゼルスで25年音楽活動に取り組み、50年にも及ぶ音楽家人生の集大成として本公演を行いました。世界を舞台にホンモノの音楽をカタチにし続けている村井氏は、まさに我がグループの信条とする「真の欲求を究めて、ホンモノをカタチにする」人物であり、我々が目指すべき姿そのもののなのです。

コンサートには、村井氏と親交の深いグラミー賞受賞6回ノミネート27回を誇る作編曲の第一人者ホルヘ・カランドレリ氏、映画「ハドソン川の奇跡に」の音楽監督で名誉あるBMI Award受賞の実力派ピアニスト、クリスチャン・ジャコブ氏、グラミー賞受賞3回ノミネートのジャズ・ボーカリスト ティアニー・サットン氏&TSBをはじめ、日本のシンフォニーオーケストラと共に、豪華アーティスト20人が出演。村井氏の半世紀に及ぶ音楽の世界、そして新たな情熱が壮大なスケールで演奏され、まさに一夜限りのプレミアムコンサートとなりました。会場は、各社のゲストであるお客様をはじめ、満員のご来場となり大盛況となりました。コンサートの最後は、会場のお客さまと出演者が一体となり、村井氏の代表曲「翼をください」の大合唱で幕が閉じられました。コンサート終了後

には、楽屋で、基弘社長ご夫妻が村井氏を激励し、花束を贈呈しました。ロサンゼルスでの偶然の出会いから始まった縁が、このような素晴らしい形となって一夜を彩りました。

ザ・ロイヤル ゴルフクラブで村井邦彦氏と世界のビックアーティストによる夢の共演!

昨年12月17日には、場所をザ・ロイヤル ゴルフクラブに移し、「村井邦彦クリスマス スペシャルライブ」が開催されました。出演は、Bunkamuraオーチャード・ホールでも共演したホルヘ・カランドレリ氏、クリスチャン・ジャコブ氏、ティアニー・サットン氏&TSBとそうそうたる顔ぶれで、約2時間にわたるスペシャルライブを実施。100人を超えるゲストが集まったライブ会場は、世界トップクラスの“ホンモノ”の音楽に酔いしれました。本公演のボーカルを務めたティアニー・サットン氏は、透明感あふれる歌声とずば抜けた歌唱力を誇る正統派ジャズシンガー。世界を代表する豪華アーティストたちの共演は、まさにザ・ロイヤル ゴルフクラブのコンセプトである“世界基準”の演奏となりました。（文：東京レジャー開発 小貫豪）



▲海宝直人さん、生田絵梨花さん、ホルヘ・カランドレリさんと



▲村井邦彦さんと

新年会で管理職らが懇親深める

グループ会社の合同新年会が1月4、5日、JR岡山駅前のターミナルスクエアと紀尾井町オフィスで開かれ、管理職ら約190人が出席。グループを横断して懇親を深めました。

冒頭で、日本カバヤ・オハヨーホールディングスの新メンバーが新年の抱負を熱く語りました。また、基弘社長はあいさつで、情報伝達のネットワークが組織の中で構築されていることの重要性を強調。「自分で考え、行動し、結果を検証することで人も会社も成長することができます。言動と行動、結果をきちんとチェックしていけば、必ず未来は輝かしいものになります。だれもやったことのないことをやりつくし、やり抜くことで、自分たちの生きている証をつくりましょう」と話しました。また、安藤副社長は「100の議論より1の行動。最大の失敗は何もしないこと。まずは一人ひとりが実行に移すべき」と喝を入れ、今年を行動元年にするこ

とを誓い、皆で乾杯しました。

今年は社員一人ひとりがビジョンを明確にし、行動する年にしましょう!



▲他の拠点で働くメンバーと交流



▲基弘社長を囲み真剣に議論



▲新たに加わった社員によるあいさつ



▲歌を披露するweb事業部山下久美子さん

MARRIAGES & BABIES

2017年 グループ会社社員の結婚・出産報告

MARRIAGES



2016年8月28日

オハヨー乳業株式会社 カテゴリー戦略室 第二グループ

田村 元彦

オハヨー乳業株式会社 出向(東京レジャー開発)

田村(岩槻) 真依



2016年12月23日

オハヨー乳業株式会社 基礎研究室

豊川 直樹



1月5日

ライフデザイン・カバヤ株式会社 尾道住宅展示場

神田 達矢



2月3日

ライフデザイン・カバヤ株式会社 ハウジングモール倉敷展示場

井上 誠



4月4日

カバヤ食品株式会社 岡山工場

杉能 慶一

杉能(福田) 和佳菜



5月3日

カバヤ食品株式会社 大阪支店

播田 元輝



5月3日

ライフデザイン・カバヤ株式会社 リフォーム部
高岸（藤田） 雅代



5月5日

オハヨー乳業株式会社 品質保証課
石田 健治



5月5日

オハヨー乳業株式会社 研究開発室 研究・開発一課
金田（吉井） 美優



5月23日

カバヤ食品株式会社 岡山工場
今岡 光平



7月6日

エクセルバック・カバヤ株式会社 営業部
諏訪 高輔



8月6日

オハヨー乳業株式会社 東京支店 営業一課
藤原 元気



9月19日

ライフデザイン・カバヤ株式会社 生産管理部
松浦（浦田） 一世



2月4日

オハヨー乳業株式会社 関東第一工場 ヨーグルト処理係
筧 雄介

9月28日

ライフデザイン・カバヤ株式会社 生産管理部
山田 翔平

11月19日

ライフデザイン・カバヤ株式会社 カバヤホーム岡山東店
薮崎 聡

2月19日

リンク&リンクージ株式会社 IT事業部運用部運用3課
関口 航生

10月3日

ライフデザイン・カバヤ株式会社 倉敷市支店工務部
印河 将志

11月22日

専門学校岡山情報ビジネス学院 教務
吉永（小倉） 千明

4月1日

ライフデザイン・カバヤ株式会社 カバヤホーム福山みどりまち店
丸山 将吾

11月3日

株式会社スクエアビル 総務部
永井 道雄

BABIES



あんな
杏奈ちゃん

オハヨー乳業株式会社
研究開発室 研究・開発二課
藤澤 裕樹



しゅんき
瞬希ちゃん

オハヨー乳業株式会社
本社工務課
坪井 裕昭



りの
璃音ちゃん

オハヨー乳業株式会社
関東工務課
君塚 徹
オハヨー乳業株式会社
関東第一工場
君塚 美由紀



ゆうり
祐吏ちゃん

オハヨー乳業株式会社
基礎研究室
藤井 祐介
オハヨー乳業株式会社
研究開発室 研究サポート課
藤井 ひとみ



だいち
大知ちゃん

オハヨー乳業株式会社
マーケット/バリュー戦略室
坂本 直基



はる
遥大ちゃん

オハヨー乳業株式会社
マーケティング・業務戦略室
平井 真生



あかり
明里ちゃん

オハヨー乳業株式会社
長船工場
藤本 義人



こうが
煌彪ちゃん

オハヨー乳業株式会社
出向(L&L チルドン 需給課)
檜原 優希那



えみ
咲実ちゃん

オハヨー乳業株式会社
本社第二工場
齋藤 隆文



はな
花奈ちゃん

オハヨー乳業株式会社
研究開発室 研究・開発一課
杉山 斉



はるま
悠真ちゃん

オハヨー乳業株式会社
関東第一工場
竹内 智也
オハヨー乳業株式会社
関東第一工場
竹内 理紗



ゆいか
由芽ちゃん

オハヨー乳業株式会社
本社第一工場
福富 宏一

げん
玄ちゃん

オハヨー乳業株式会社 長船工場

藤岡 伸嘉



ここね
心音ちゃん

カバヤ食品株式会社
岡山工場

川野 希美



ゆうたろう
佑太朗ちゃん

カバヤ食品株式会社
関東工場

長橋 昌宏



はると
陽翔ちゃん

カバヤ食品株式会社
岡山工場

野口 早織



けい
慶ちゃん

カバヤ食品株式会社
大阪支店

河野 成美



こうへい
康平ちゃん

カバヤ食品株式会社
マーケットバリュー戦略室

山崎 匠



りくと
陸杜ちゃん

カバヤ食品株式会社
関東品質管理課

濱田 康郎



せいだ
惺大ちゃん

カバヤ食品株式会社
岡山工場

森元 梨香



しゅうへい
柊平ちゃん

カバヤ食品株式会社
人事課

後藤 彰臣



ひなた
陽太ちゃん

カバヤ食品株式会社
東京支店

小林 正和



はるか
遥香ちゃん

カバヤ食品株式会社
札幌営業所

村井 朋弥



さき
咲希ちゃん

カバヤ食品株式会社
岡山工場

松岡 平和

カバヤ食品株式会社
岡山工場

松岡 愛恵



らん
藍ちゃん

カバヤ食品株式会社
大阪支店
坪井 沙和



ももか
萌々香ちゃん

カバヤ食品株式会社
生産管理課
長戸 勇樹

こうたろう
航太郎ちゃん

カバヤ食品株式会社 チャンネル推進課

浅尾 和宏

きい
希唯ちゃん

カバヤ食品株式会社 研究開発室

塚副 耕大

はやと
颯翔ちゃん

カバヤ食品株式会社 関東工場

石崎 真希

まな
愛菜ちゃん

カバヤ食品株式会社 関東工場

佐藤 裕久

れんと
蓮人ちゃん

カバヤ食品株式会社 関東工場

平塚 章



そうた
壮汰ちゃん

ライフデザイン・カバヤ株式会社
設計部

横田 悟

横田(井上) 由希子



えいじゅん
栄純ちゃん

ライフデザイン・カバヤ株式会社
カバヤホーム倉敷CLT店

栗原 良浩



なる
成ちゃん

ライフデザイン・カバヤ株式会社
設計部

藤本(景山) 真衣



なつ
菜都ちゃん

ライフデザイン・カバヤ株式会社
カバヤホーム岡山中央店

植田 紘之



りの
莉希ちゃん

ライフデザイン・カバヤ株式会社
尾道住宅展示場

神田 達矢



なな
菜那ちゃん

ライフデザイン・カバヤ株式会社
設計部

西田 浩志



たくみ
拓海ちゃん

ライフデザイン・カバヤ株式会社
RSK第一展示場

西尾 祐平



あん
杏ちゃん

ライフデザイン・カバヤ株式会社
総務部

常富(川西) 章子



ふみの
文乃ちゃん

ライフデザイン・カバヤ株式会社
カバヤホーム福山みどりまち店
池田 晋一

じんのすけ
稔ノ介ちゃん

ライフデザイン・カバヤ株式会社 カバヤホーム岡山南店
原口 健太郎

いつき
一希ちゃん

ライフデザイン・カバヤ株式会社 エス・バイ・エル・カバヤ尾道展示場
松本 和也



あゆり
愛友佳ちゃん

エクセルバック・カバヤ株式会社
生産部印刷課
西井 李利



ひなた
陽向ちゃん

エクセルバック・カバヤ株式会社
生産部印刷課
桜井 駿



ひなと
暖翔ちゃん

リンク&リンテージ株式会社
業務運営課
安田 智紀



かほ
夏帆ちゃん

専門学校岡山情報ビジネス学院
医療福祉事務学科 教務
浅野 文章



かえで
楓ちゃん

東京レジャー開発株式会社
本社
小貴 豪



みさき
実咲ちゃん

東京レジャー開発株式会社
本社
大野 永資

しゅん
竣ちゃん

専門学校岡山情報ビジネス学院 教務
石井 正人



みく
実久ちゃん

日本カバヤ・オハヨー
ホールディングス株式会社
大村(小村) 沙織





オハヨー乳業
品質保証課

加藤 順一さん

読んだ推薦図書

「日本一社員がしあわせな会社のヘンな“きまり”」山田昭男

高い利益率と社員の幸福感の高さで有名な会社の話です。「この会社のために頑張ろう!」と思える職場環境や仕組みづくり、徹底的な差別化にこだわるモノづくりについて参考になる一冊でした。

「中小企業だからこそ、よそと同じことはしない」という考え方の根底には、お客様の願望や幸せを徹底的に追求する姿勢があります。他社にまねできないモノ・コトづくりを展開する姿は、われわれグループ全体でも目指すべき姿であり、中小企業としての在り方、働き方について考えさせられました。また、社員の意欲を高めるための取り組みも、日本人のメンタリティを把握した上で「個人が常に考え、自分で判断し、やり抜ける環境づくりのために取り組んでいる」とのこと。社員の幸福感がそのまま仕事の質につながるという考え方は、とても共感でき、グループ存在目的にもある「家族との絆と幸福を求める」ためにも、個人として会社として、魅力的な労働環境をつくり上げていく必要があると思います。



瀬戸内海経済レポート

安江 義男さん

読んだ推薦図書

「京セラフィロソフィ」稲盛和夫

多くの経営者が学ぶ京セラ創業者・稲盛和夫氏の哲学に興味を持ち読みました。600ページに及ぶ大著ですが、1本の柱が通った内容が経験談を踏まえ分かりやすくまとめられ、一気に読むことができる本です。その1本の柱とは、本質を見極め、原理原則を貫き、常識に逃げないこと。例えば、多くの企業が「売り上げを極大に、経費を極小に」ではなく、業界の水準という常識・先入観にとらわれ、一律の利益率で満足していると指摘しています。社員の全労働時間から一時間当たりいくら付加価値を生んでいるかを割り出し、指標とする「アメーバ経営」に至っては、まさに働き方改革で求められている生産性向上にほかならず、本質を見極め、いち早く取り組んだことに感銘を受けました。わたしも本質を見極めた取材に努めたいと思います。



カバヤ食品
生産管理部 関東生産管理課

佐藤 秀和さん

読んだ推薦図書

「鈴木敏文 考える原則」緒方知行

セブンイレブンの創業者鈴木敏文氏が、社内会議で実施した1300回以上の講和を基に「仕事の考え方・進め方」に関する内容を編集したものです。

小売業のノウハウが大半ですが、仕事をする上で大切な「考える原則」に関する内容も多く書かれていました。特に感銘を受けたのは、「今までの仕事を否定してかかることが、マンネリ打破の基本」でした。私が担当している発注業務はルーチンワークになりがちですが、この言葉をきっかけに今の自分のやり方が最善なのか、もっと効率的な方法があるのではないかと考えるようになり、仕事の改善策を検討するようになりました。

行動規範の「二、創る」「五、最小限の労力で最大限の効果を生む」にも通じており、受け身となっていた仕事への取り組みを前向きに見つめ直す機会を与えてくれた本です。自分の仕事への取り組み方に自信が持てない人にお薦めです。



ライフデザイン・カバヤ
経理部

田邊 佑樹さん

読んだ推薦図書

「人を動かす」Dカーネギー

新卒採用を担当しているので、業務に役立つと思い手に取りました。「人の身になる」や「心からほめる」などの原則が計30原則書かれており、どの原則も簡単に実践でき、仕事だけでなく、プライベートでも生かせる内容でした。しかし、表面上の表現だけでは意味がありません。場合によっては褒めたつもりが相手をいら立たせることになる可能性もあります。効果を発揮するためには、「人（相手）に興味を持つ」ことや「人（相手）を好きになる」ことで、相手がどのような人であるかをしっかりと把握することが重要だと感じました。新卒採用においても、学生一人ひとりどういった学生であるか、どのようなことに興味があるかなど、関心を持ちつつ、今回学んだ原則を実践していきたいと思います。

日本カバヤ・オハヨーホールディングス 広報部より

当初よりお伝えしていますが、会社に対して3回以上質問・意見・提案したこと、評価に対して知らされていない、3ヵ月以上返答がない、または納得が出来ていない、現場で抱えている問題…等々、誹謗中傷以外、あなたの発言を尊重して守り、個の利益・利害を阻害することなく、全て受け付けます。

ALL for ONEの精神にのっとり、問題・課題の解決に向けて取り組むことこそが事業にとって、あなたにとっての利益となると考えます。

現場にこそ答えがある。

ご連絡お待ちしております。

連絡先: 日本カバヤ・オハヨーホールディングス 広報部 担当: 豊田
Fax: 086-231-4783 Mail: info@kabaya-ohayo.jp

ONE for ALL

当事者意識を以って、個々の人生設計を中・長期経営計画に映し出し、自らの豊かさと事業の成長・発展を一致させ実行し、達成する。

ALL for ONE

現状から目を背けず、現実を直視し、真の欲求を究めて、ホンモノをカタチにする。トップからのメッセージを直接伝えると同時に、それぞれの取り組みにフォーカスし、全社一丸となってその一人を支えていく。

編集後記

新しい年になり、早くも1ヵ月が過ぎました。皆さん、どのような1年にするか決意を新たにしたのではないのでしょうか。昨年はザ・ロイヤル ゴルフクラブのグランドオープンに始まり、ロイテリヨーグルト発売など、一大事業をスタートする一方、喬会長のご逝去と、当グループにとって大きな出会いと別れの1年でした。今年はどんな出会いと別れがあるのでしょうか。何が起きても動じずに安定して進んでいくために、全社員同じ軸を持って、理念や方針に則り行動することが重要だと改めて実感しています。いよいよ次年度に向けて戦略を固めていく時期です。満を持して新年度を迎えられるよう、現状を見直し、反省すべきところは反省して、前を向いていきたいと思えます。(豊田)



投稿・ご意見募集中!

「現場でこんな問題がある」「自分のアイデアを聞いてほしい」などの意見やALL for ONEの感想や疑問点をアンケートに記入して送ってください。ご意見、ご感想をお待ちしています。



日本カバヤ・オハヨーホールディングスグループ
Communication Magazine "ALL for ONE" Vol.19

発行: 2018年2月13日
制作: 日本カバヤ・オハヨーホールディングス 広報部
東京都千代田区紀尾井町3-12 紀尾井町ビル10階
TEL: 03-3222-7311

NIPPON
KABAYA OHAYO
HOLDINGS
INC.

ONE for ALL

真の欲求を究めて、ホンモノをカタチにする